

山岳ぐんま



一般社団法人 群馬県山岳・スポーツクライミング連盟

発行人：吉田直人 / 編集人：根井康雄

〒371-0123 前橋市高花台 1-6-5 (佐藤光由方) tel027-269-1143 E-mail : info@gunmaken-sangakurenmei.net



top News

ぐんま山フェスタ 2026 開催

登山の楽しさと安全な山登り、自然環境の保全などを一般県民に呼びかける毎年恒例の「ぐんま山フェスタ」(実行委員会主催)が10月17.18日、高崎市間屋町のビエント高崎エクセルホールなどを会場に開かれた。

メイン会場のエクセルホールには岳連の相談コーナーが設けられ、群馬県山岳団体連絡協議会の日本山岳会群馬支部、群馬県勤労者山岳連盟とともに、来場者からの登山コースや安全な登り方などの問い合わせに対応した。また「群馬の山」のカレンダーも好評で、一枚一枚写真を眺め買い求めて行く人の数も例年になく多かった。

会場入口のロビー脇に設けられたステージでは、岳連理事で日本山岳会群馬支部の中島あづさ会員のスピーチ「Nepal trekking で感じたこと」、県自然環境課主催で株式会社山屋の長谷川悟氏による講演会「登山道整備のあ

り方」のほか、登山 YouTuber のトークショーや撮影会なども行われた。また会場内には群馬県山岳団体連絡協議会の2026年ネパール洪水救援金の募金箱も置かれ、多くの来場者が浄財を投じていた。

そのほか、協力団体による山の紹介と観光PR、関連事業者によるブース出展などさまざまなコーナーが設けられ、ヤマノススメ×ぐんま山フェスタタイアップグッズ販売や漫画家・イラストレーターありをさんの書籍販売&サイン会なども盛況だった。

二日間とも晴天に恵まれ、屋外に設けられたクライミングボードも終日、歓声が響いていた。

来場者数は17日が3,000人、18日が2,500人で合計5,500人だった。今まで秋に行われていたが、誘客上の季節的背景を考慮し、来年度は4月中旬の週末17.18の両日に行われる予定。

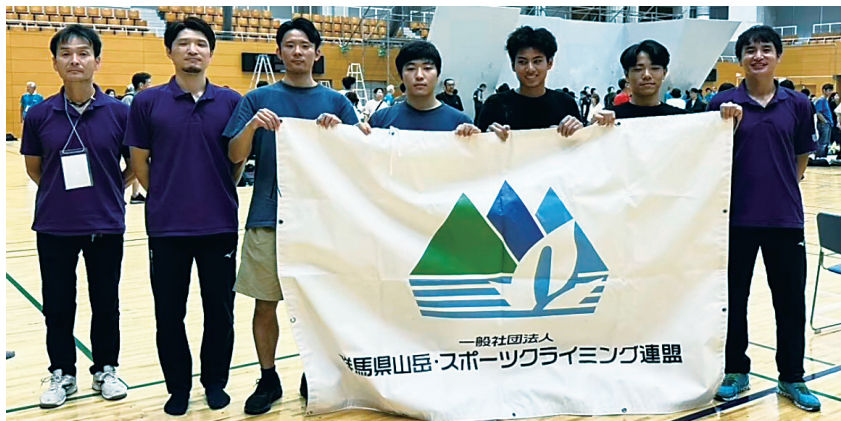
第 80 回国民スポーツ大会関東ブロック大会千葉大会報告

今年の関東ブロック大会スポーツクライミング競技は、2026 年 8 月 8 日（土）～9 日（日）の 2 日間で千葉県印西市の印西市松山下公園総合体育館にて行われました。群馬から成年男子は星選手と中村選手、少年男子は佐藤選手と宮川選手の合計 4 名の選手がエントリーしました。

8 日はリード種目を実施し、9 日はボルダー種目です。各選手ともに県外の大会でも成績を残しているのですが、結果として関東ブロックのレベルは高く残念ながらブ

ロック大会突破はできませんでした。しかしその中でも星選手はボルダーで個人成績 4 位、少年男子も健闘し昨年よりも順位を上げており、2029 年の群馬国スポへ貴重な経験となったと思います。また、少年男子は佐藤選手、宮川選手ともにスーパーキッズの卒業生でもあり、当連盟で行っている育成事業の効果が出てきていると思います。

今後の星選手、中村選手、佐藤選手、宮川選手の活躍に期待しています。



群馬県代表選手団（左から岩崎監督、浅川トレーナー、星選手、中村選手、宮川選手、佐藤選手、滝口監督）

関ブロ群馬県代表チーム

成年男子選手	星優 輝	(GNホールディング㈱)
成年男子選手	中村怜旺矢	(立教大学)
成年男子監督	岩崎年伸	(高体連)
少年男子選手	佐藤飛羽	(県立西邑楽高校)
少年男子選手	宮川 湊	(太田市立南中学校)
少年男子監督	滝口諄人	(高体連)
トレーナー	浅川大地	

群馬県派遣役員

総務委員	嘉村肇晃	(桐生山岳会)
審 判	川合健史	(高体連)

公式掲示板

https://jmanew.sakura.ne.jp/climbing/temp_results/kokutai/block/2026/kantou/index.html

第 80 回 国民スポーツ大会青の煌めきあおもり国スポ !!! 少年女子 18 年ぶりの入賞 !!!

2026 年 10 月 11 日（日）～13 日（火）の 3 日間で、第 80 回国民スポーツ大会スポーツクライミング競技が、青森県青森市森運輸アリーナにて開催され群馬県からは、少年女子 2 名の選手が関東ブロックでのストレート出場にて参戦いたしました。11 日にまずはフラッシングによるリード予選競技を実施し、予選 1 番目に小山選手が出場。1 番目とあって他選手の登り

が見られない中、ウォール上部壁に迫る 3 分の 2 を登る健闘を見せました。小柳選手も健闘するも全国の壁は厚く残念ながら予選突破はかなわず、2 日目のボルダー競技に

全力を出すことを誓いました。

12 日にはボルダー予選競技を午前中から実施。全 4 課題を 2 名でトライします。群馬県は 4 番手での出場。



トレッキングや登山の国内・海外旅行保険はもちろん、自動車保険、火災保険、傷害保険、生命保険などを取り扱っております。メールや電話、Zoom 等でもご契約頂けるので、千葉県船橋市の保険代理店ではございますが、ご用命頂けると幸いです。

東京海上日動火災保険（株）、東京海上日動あんしん生命保険（株）代理店

（株）And-Arc

〒273-0012 千葉県船橋市浜町 2-1-1 ららぽーと三井ビルディング 7F

TEL:047-489-1661/FAX:047-489-1667

まずは前半 2 課題のトライで小柳選手が 2 課題完登し
 小山選手も 1 課題を完登でまずまずの出だし。休憩後の
 後半 2 課題は両選手ともに 1 課題完登と残り 1 課題で
 の中間点を獲得。群馬が終了時には暫定 1 位ですが他に
 も強豪がいる中、応援団は予選の経過を見守ります。そ
 の結果、大阪や長野、栃木等の強豪が群馬より下位とな
 り、予選 5 位で決勝進出が決定し 18 年ぶりの入賞が確
 定しました。小柳選手の 3 完登で個人予選成績が 8 位と、
 小山選手が確実に得点を決めたことが決勝進出の決め手
 となりました。夕方からの決勝では、上毛新聞の取材も
 入り群馬県職員やスポーツ協会の職員の方も駆けつけ応

援に熱が入りましたが、一段と難易度を増した課題は非
 常に困難で予選での順位を上げることはできませんでした。
 しかし見事な 8 位入賞でした。選手たちは登れなかつ
 た課題に口惜しさをにじませながらも表彰式では晴れや
 かな笑顔を見せ、上毛新聞や群馬県職員の取材に群馬国
 スポへ向けての意気込みも語ってくれました。両選手と
 もスーパーキッズの卒業生でもあり、育成に携わった私
 たちも入賞をととてもうれしく思います。

3 年後に開催される群馬での国スポに向けてさらなる
 弾みをつけて群馬県の選手が大舞台で活躍することを願
 うとともに、皆さんの応援をよろしくお願いいたします。



会場の様子

青森国スポ群馬県代表チーム

少年女子選手 小柳舞依（県立前橋南高校）
 少年女子選手 小山愛美（高崎市立佐野中学校）
 少年女子監督 白石裕也（ウォールストリート）
 トレーナー 白石嘉奈子

群馬県派遣役員

中央総務委員 赤松久宇（太田山岳会）
 審 判 川合健史（高体連）



表彰式後の記念撮影
 小山選手（左）と小柳選手（右）



リード予選Bルートでの小山選手



ボルダー予選第 2 課題を完登する小柳選手

公式掲示板 https://jmanew.sakura.ne.jp/climbing/temp_results/kokutai/pub/aomori/

アルファ化米
乾燥米飯

のぞみちゃん

nozomi foods Co., Ltd.
あなたの安心を支えるWel-heart
<https://www.nozomi-f.jp>

キャンプ
野営に飯を

個人会員委員会活動記録

個人会員委員会スタッフ 岡田英喜（境町山の会）

個人会員委員会では7月12日（日）～13日（月）、標高2696mの北アルプス唐松岳の山小屋泊を実施してきましたので報告いたします。

日 程 2026年7月12日（日）～7月13日（月） 唐松岳頂上山荘泊

行 程 八方駅ー唐松岳 往復（ピストン）

7月12日（日）1日目

吉井支所 4:50 集合出発ー高速道路（吉井IC～長野IC）ー八方駅 8:00 ー兎平駅ー八方池山荘 8:45 ー八方山ー八方池 10:30（昼食休憩）ー唐松岳頂上山荘 14:10、14:55 ー唐松岳

7月13日（月）2日目

唐松山荘 7:00、7:30 発ー八方池ー八方山ー八方池山荘ー兎平駅 12:00、12:50 着ー八方駅 13:30 発ー日帰り温泉（ぽかぽかランド美麻）13:45～14:45 ー高速道路（長野IC～吉井IC）ー吉井支所 17:15 着

参加メンバー 一般会員21名、スタッフ5名、全26名（男性：11名 女性：15名）

〔利用バス会社〕 株式会社ボルテックスアーク

<1日目>

毎年恒例の小屋泊山行で、今年は北アルプス・後立山連峰にある花の山唐松岳を実施。バスを1台チャーターして吉井支所を出発し、高速道路（吉井IC～長野IC）使用で八方駅へ。八方駅から標高約1,800mまで Gondola とリフトで行く。参加者が多いため、歩き始める前にA班、B班の2パーティーに分けて行動。梅雨真っ盛りで前線の影響もあり両日ともに天候が不安定な予報であったが、1日目は雨にも降られず、白馬三山、遠見尾根等の眺望もあった。ただ、八方山あたりからは強風のためあおられないよう歩行に注意をする必要があった。強風であったため八方池での逆さ白馬は見られなかった。2班共に八方池湖畔で昼食休憩とした。花の山というだけあって、行程全般に高山植物の種類も豊富で様々な花が咲き乱れていて、皆さん写真に収めることに忙しかった。丸山ケルンあたりで先行していたA班は、雷鳥に出会えた。B班は残念ながら出会えなかった（気付かなかった）。見られた人はラッキー！！

途中、雪渓脇歩きが1ヶ所、雪渓歩きが2ヶ所あったが、雪が腐っていたため登りでは全員問題なく歩けた。夜間冷えたら明日の下山時は注意が必要かなと感じた。小屋には予定時間に到着。小屋に着いた頃にはガスって周りは何も見えない。

北館に宿泊。夕食は本館で18時から。小屋着時点で体調不良者は無し。夕食までの間、山頂に行く人と休憩する人に分かれた。休憩する人は、食堂を利用できたため、持参したワイン、焼酎や購入したビールにて交流を行った。山頂に向かった人は強風の中を歩き、登頂。そこでも雷鳥に出会えた。ガスで何も見えなかったが、雷鳥に出会えたのは行った価値がある。戻ってから食堂で交流会に合流した。小屋の主人が長田さん（沼田：今回不参加）の知り合いで焼酎を差し入れていただいた。夕食は、ごはん、みそ汁はおかわり自由。メインはハンバーグ。夜中より雨、風が強くなり窓にたたきつける音で目が覚めるほどであった。

<2日目>

夜中からの風雨がやまず、朝食を食べに本館へ向かうだけでも雨具を着用。朝食の時点で体調不良者はいなかった。朝食は6時～。夕食同様にごはん、みそ汁はおかわり自由。メインは焼き鮭。

朝から雨であったため、山頂には行かず朝食後に7時と7時半に分けて下山。風雨が強いので滑らないよう、風でよるめかないよう意識して歩き出す。心配していた雪渓の下りも雨だったためクラストすることなく軽アイゼン等を使わずに歩けた。雨天時の山行は気分的に上向かないが、花の山ならではの良いこともあった。チングルマ、サンカヨウの花弁が雨に濡れると透明に透ける現象が現れる。その現象が現れ、下がっている気分を

上げてくれた。他にも雨天時は花も生き生きして見えるし、登りではにしゃびていたコケも緑みどりしていた。

風はずっと強かったが雨は降ったりやんだり、雨がやみガスが切れると遠見尾根がきれいに見えることもあった。八方池付近では残念ながら白馬三山は雲がかかり稜線は確認できなかった。

風が強かったが上のリフトも問題なく稼働していた。下のリフト、Gondola は風の影響を受けない場所のようである。

2日間通して参加者の体調不良や大きな怪我なく、無事下山した。



不帰をバックに



唐松岳山頂にて



雨中のサンカヨウ



雷鳥の親子

「2026 年ネパール洪水」 救援金趣意書

令和 8 年 10 月 28 日

群馬県山岳団体連絡協議会 会長 吉田直人

平素は群馬県山岳団体連絡協議会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2026 年 8 月 26 日に発生いたしました「2026 年ネパール洪水」により、ネパール北部バグマティ州のラスワ、ヌワコット、ダディン の 3 郡では甚大な被害がもたらされました。多くの人命が失われ、多数のけが人や避難者が救いを待っています。また住宅や道路、橋、発電設備などのインフラにも多大な被害が発生しています。

被災地における深刻な状況を鑑み、登山やトレッキングを通して長年にわたりネパールに親しんできた登山者の集まりである群馬県山岳団体連絡協議会といたしましては、甚大な犠牲と被害に対し、被災された方々の一日も早い生活再建・復興を支援するため、下記の通り、広く救援金の寄付を呼びかけることといたしました。

何卒ご理解とご賛同をいただき、温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

記

1. 募金名称 2026 年ネパール洪水救援金
2. 募集期間 2026 年 10 月～ 2026 年 12 月 25 日（金）
3. 受付方法・振込先
 - (1) 受付窓口：ぐんま山フェスタ等、当協議会が出展するイベントでの募金箱
 - (2) 銀行振込：
 - 【金 融 機 関】高崎信用金庫 新前橋支店
 - 【口 座 種 別】普通
 - 【口 座 番 号】2 1 7 0 6 3 7
 - 【口 座 名 義】群馬県山岳団体連絡協議会 会長 吉田直人
4. 救援金の使途（寄付先）

お預かりいたしました救援金は、全額を取りまとめの上、公的な機関を通して被災者の救援および復興支援のために役立てられます。 ※収支および寄付の報告は、後日ホームページ等にてご報告いたします。
5. 寄付金控除について本募金は任意の救援金のため、寄付金控除の対象外となります。
6. 寄付金控除をご希望の方は、下記へお問い合わせください。

【本件に関するお問い合わせ先】

群馬県山岳団体連絡協議会 担当：副会長 根井康雄 電話番号：080-3506-3567

メールアドレス：info@gun-san-renkyou.org URL：https://gun-san-renkyou.org/mok/index.html

群馬の山

23

赤城荒山・鍋割山 箕輪から2山往復コース

難易度 A 体力度 3

箕輪（姫百合駐車場）⇨〈0:50〉荒山高原⇨
〈1:00〉荒山⇨〈0:50〉荒山高原⇨〈0:40〉
鍋割山⇨〈0:40〉荒山高原⇨〈0:40〉箕輪



赤城山の山頂部を縁取る外輪山の南西部からさらに南西に向かって大きな高まりが続いている。それが荒山から鍋割山へと続く尾根で、このコースはその2つのピークを踏む。時間や体力によって、どちらか1つを選んで登っても十分楽しめる。全体的に整備されていて、一部を除いて急な登下降もなく歩きやすい。赤城最南端の鍋割山は草原上の山頂で、眼下の前橋市を中心に高崎から伊勢崎方面、そして関東平野まで一望できる。

「群馬の山歩きベストガイド

安心して歩ける 126 コース

群馬の山歩き ベストガイド

安心して歩ける 126 コース



定価 1400 円 + 税
ISBN978-4-86352-249-7

群馬県山岳連盟と日本山岳会群馬支部、群馬県勤労者山岳連盟による群馬県山岳団体連絡協議会の編集で、上毛新聞社から発売中。お求めは岳連総務委員会へ。県内外の書店でも好評販売中。

後編 記集

日本近代登山のパイオニアと言えば、ほかに名前が挙がると思うが、木暮理太郎はまさにその中でも代表格ではないだろうか。奥秩父を愛し、戦前から戦中の多難な時期にあって、日本山岳会3代会長を務め、ヒマラヤ研究にも精通した、稀代の登山家である。強戸村（現太田市寺井町）の生まれながら、群馬の登山者には不遇にしてあまり知られていない。毎年10月には山梨県の奥秩父で木暮祭、11月には太田市で木暮理太郎を偲ぶ会が開かれている。太田市の新田荘歴史資料館では木暮理太郎の企画展示が11月末まで開かれている。



(有) 山とスキーの店 石井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026